アセンシア®

ブリーズ2®

血糖測定機器

医療機器承認番号：21900BZX01109000

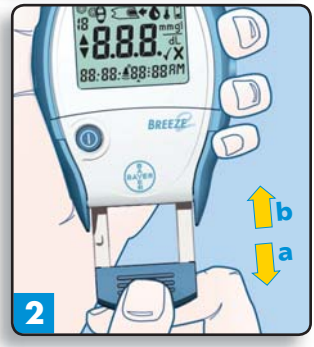
取扱操作説明書

BAYER

NEW! 少ない血液量
早い測定時間
メモリ容量の増加

3ステップの簡単な測定

1 機器を開け センサーディスクをセットして、閉じます。



2 ハンドルを（**a**）方向に 引いてから（**b**）方向に押し、 センサーを出します。

3 血液を接触させます。

目次

はじめに

はじめに 1
各部の名称 2
表示マークの説明 4
測定時に用意するもの 6

日常の測定

センサーディスクのセット 7
血糖値の測定 10
　測定値のマーキング 17
　指先以外での採血 18
コントロールテストの実施 19
　コントロールテストのマーキング 21

日常の測定以外での機能

測定結果の呼び出し 23
　平均血糖値の確認 24
　記憶されている測定結果の消去 25
設定機能 26
　時刻の設定 26
　日付の設定 27
　ブザー音量の設定 29
　時刻表示形式の設定 30
　日付表示形式の設定 31
測定結果のコンピュータへの転送 32
機器の清掃 33
電池の交換 34

目次

技術情報

機器の仕様 **37**
性能の評価 **37**

問題点の解決

故障かなと思われたら **38**
問題解決とエラーコード **39**
お問い合わせ先 **44**
別途販売品 **45**
保証について **46**

ブリーズ®2は、血糖自己測定用として、またヘルスケアの専門家が全血中のグルコースレベルをモニターすることを目的としています。本システムで、全血のブドウ糖濃度を測定できます。ブドウ糖を特異的に測定し、血漿値として結果表示します。

本製品についてのご質問は、当社の糖尿病検査お問い合わせコーナーへご連絡ください。

糖尿病検査お問い合わせコーナー／平日（月～金）9:00～17:30

0120-123119

製品に関するお問い合わせはフリーダイヤルへ（料金無料）

■ホームページ

糖尿病について▶http://www.ascensia.jp

はじめに：

このたびは、ブリーズ®2をお買い上げいただきありがとうございます。本機器は、血糖値の定期的なチェックを必要とするお客様が、すばやく簡単に血糖値を測定できるように設計されています。本製品には、次のような特徴があります。

- 自動校正機能を搭載
- 10回分のセンサーが1枚のディスクに入っている便利なセンサー
- 少ない血液量
- 早い測定時間
- 「引いて押す」だけの簡単な手順
- 使う方に優しいデザイン

使いやすさと信頼性を兼ね備えた本機器を、毎日の血糖値管理にお役立てください。

この取扱操作説明書では、ブリーズ2の使用方法についてご説明します。測定手順についてわからない点がある場合は、この説明書を参照ください。

注意：
ご使用前に必ずこの取扱操作説明書をお読みになり、その内容および操作方法を理解の上、血糖測定を行ってください。

本品を用いた血糖自己測定は、必ず主治医の指示に従って実施してください。

ブリーズ2各部の名称:

廃棄ボタン
使用済みのセンサーを廃棄する場合に押します。

ディスプレイ
ここに測定結果が表示されます。

電池収納部（機器側面）
リチウム電池（型式CR2032）1個を収納します。

電源

ボタン
手動による電源の切り替え、センサーの枚数の確認、日時の確認を行う場合に使用します。

データポート
（本体側面）
ケーブルを接続して機器からコンピュータにデータを取り込みます。

ボタンカバーを開けるつまみ

ボタンカバー
各種ボタンを使用するときに開けます。

操作ハンドル
操作ハンドルを引いて押すとセンサーが出て、自動的に電源が入ります。

本体上部

廃棄ボタン

センサー出口

ボタンカバー内部

電源
ボタン
手動による電源の**ON/OFF**、センサーの枚数の確認、日時の確認を行う場合に使用します。

呼出
ボタン
メモリに記憶されている測定値や測定結果の平均値を確認する場合に使用します。

設定
ボタン
時刻、日付、各種設定を変更する場合に使用します。

＋／－ボタン
別の測定結果やオプションを表示する場合に使用します。

決定（OK）ボタン
設定モードで加えた変更内容を決定する場合に使用します。

ボタンカバーを開けるつまみ

メモ: 製品には、簡単なボタンの説明を記載したステッカーが付属しています。希望の言語のステッカーを選択してボタンカバーに貼り付けてください。

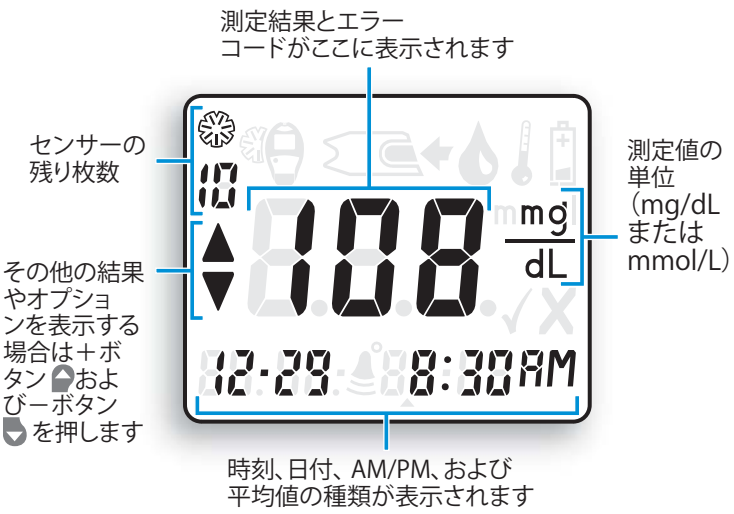
本体背面

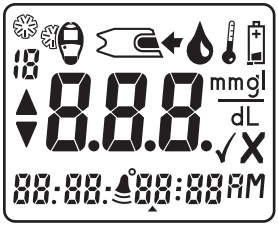
オープンラッチ（本体裏面）
端を押して裏ぶたを引き上げて機器を開けます。

表示マークの説明：

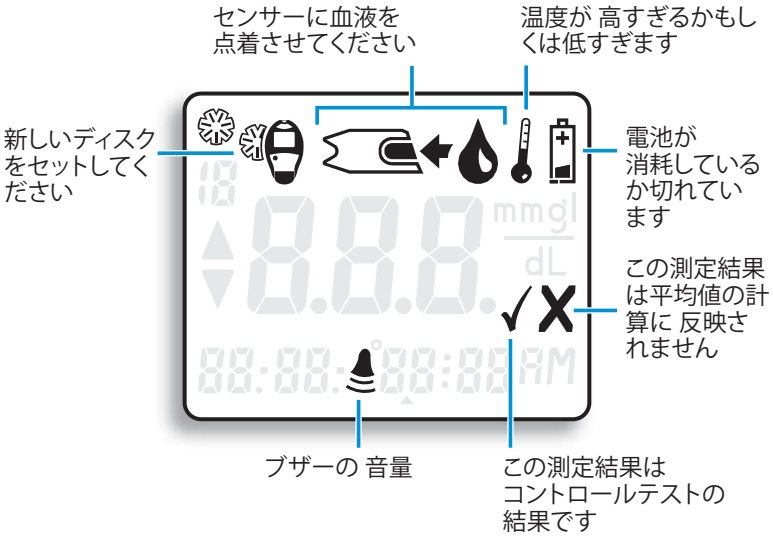
ここで示す全項目が表示されたディスプレイは、すべての表示マークが正常に機能している状態のディスプレイです。全項目が表示されたディスプレイを見るには、電源ボタンⓘを押し続けるか、操作ハンドルをいっぱいまで引き出します。測定を行う前に、お手元の機器とこのディスプレイを比較してください。相違点がある場合は、39ページの「問題解決とエラーコード」を参照してください。

各表示項目の説明：




mmol
dL
AM

各表示項目の説明:

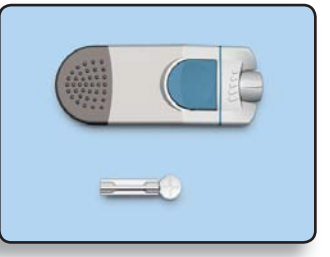

センサーに血液を
点着させてください
温度が 高すぎるかもし
くは低すぎます
新しいディスク
をセットしてく
ださい
電池が
消耗している
か切れてい
ます
この測定結果
は平均値の計
算に 反映さ
れません
mmol
dL
AM
ブザーの 音量
この測定結果は
コントロールテストの
結果です

測定時に用意するもの：

ブリーズ2センサー（1枚のディスクに10回分のセンサーが入っています：別売り）

ブリーズ2コントロール（別売り）

マイクロレット®（採血器具）およびマイクロレット ランセットII（採血針）（キット付）



日常の測定

センサーディスクのセット：

警告：操作ハンドルを引き出した状態では絶対に機器を開けないでください。

機器を開けます

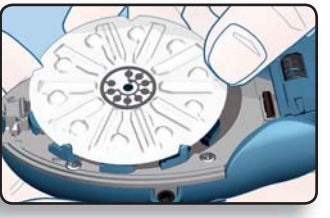
1. ディスプレイが下を向くように、機器を裏返してください。オープンラッチの端を押して裏ぶたを引き上げて機器を開けてください。

ディスクのパッケージを開けます

2. 新しいセンサーディスクのパッケージを開けてください。ディスクに記載されている使用期限を確認してください。

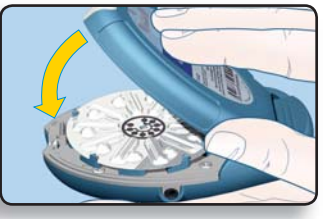
ディスクをセットします

3. 新しいセンサーディスクを、凹凸のある側を上に向けて、センサーディスクの5ヶ所の切り込み部分を機器に合わせてセットしてください。



機器を閉じます

4. 裏ぶたをしっかりと閉じてください。閉じるときは、機器を水平にした状態で行ってください。



☺**役立つヒント：** 裏ぶたを閉じるときは、必ず機器を水平にした状態で行ってください。水平にしないと、ディスクが外れて破損し、センサーが使用できなくなる場合があります。

センサーの残り枚数を確認します

本機器は、センサーの残り枚数を自動的にカウントします。残り枚数は、測定結果と一緒に表示されます。電源が切れているときに残り枚数を確認するには、電源ボタンⓘを押してください。

メモ： 機器を開けると、残り枚数が10回に戻ってしまいます。残り枚数を常に正確に表示させるためには、10回分のセンサーを使い終ったとき以外は、機器を開けないでください。

センサーディスクの交換が必要なときも、ディスプレイが知らせます。センサーディスクをセットしている状態の絵が、ディスプレイに表示されます。

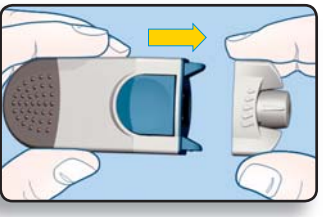
血糖値の測定：

1. 石鹸と温水で手をよく洗い、しっかりと洗い流してから完全に乾かしてください。

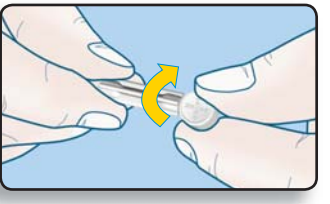
メモ： 指先以外から採血する場合は、18ページを参照してください。

採血器を準備します

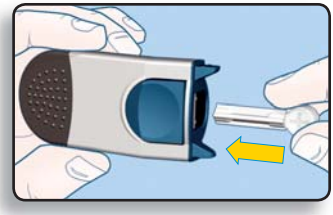
2. マイクロレット（採血器）のキャップをはずしてください（詳細な手順については、マイクロレットの取扱操作説明書を参照してください）。



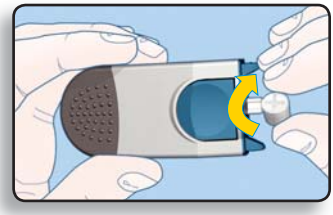
3. 針のカバーを4分の1回転ほどしてゆるめてください（カバーは取り外さないでください）。



カチッという音がするまで、採血針を機器に完全に押し込んでください。

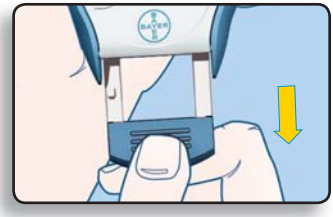


4. 針のカバーをねじり取り、キャップを取り付けてください。



センサーを出します

5. 本機器は、使いやすい「引いて押す」方式を採用しています。

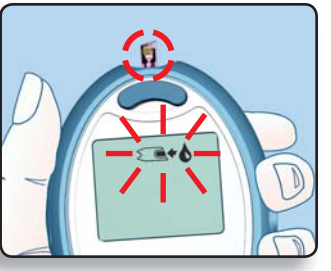


手順は次のとおりです。

片手で機器本体を持ち、もう一方の手で操作ハンドルをしっかりつかみます。あとは、「引いて押す」だけです。ハンドルをいっぱいまで引き出したあと、機器にしっかりと押し込んでください。

☺**役立つヒント：** ハンドルを引いて押すことにより、自動的に電源が入ります。

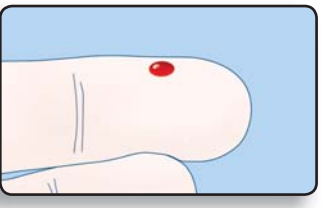
メモ： 操作ハンドルを押し込むと、廃棄ボタンが上がり、センサーが出て、点着マークがディスプレイに表示されます。これで血糖値測定の準備は完了です。



注意：

- **センサーは1枚ずつ出るように設計されています。すでにセンサーが出ている状態で新しいセンサーを出す操作をしないでください。**
- **機器から取り出したセンサーはすべて廃棄し、再セットしないでください。**

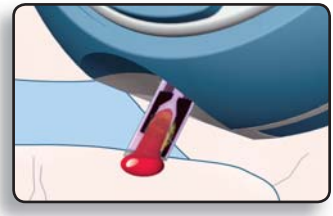
6. 指に採血器の先端を押し当てて穿刺し、滴状に血液を出してください。



測定を行います

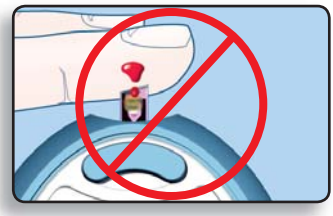
7. 平らなストローのような形をしたセンサーに、血液を吸い込ませます。センサーの先端に血液を接触させてください。血液がセンサー内に自動的に吸い込まれます。

ブザーが鳴るまでセンサー先端を血液に接触させた状態に保ちます。ブザーが鳴ったら、直ちに血液からセンサーを離してください。



正しい測定結果を出すために：

- **血液はセンサーの先端から吸引します。センサーの上から滴下しないでください。**
- **血液が機器内に流れ込まないようにしてください。**
- **ブザーが鳴ったらセンサーを血液からすぐに離してください。**



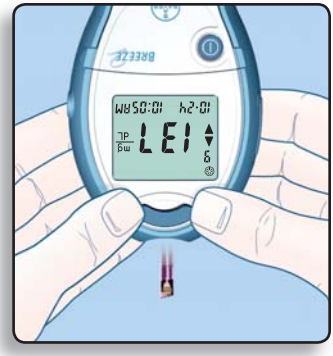
8. ブザーが鳴ったら、ディスプレイに5秒から1秒までの秒読みが表示されます。

測定結果がディスプレイに表示されます。

☺**役立つヒント：** 左上に表示される数字が、センサーの残り枚数です。

重要： この測定結果を削除対象の測定値としてマーキングする場合は、結果が表示されているこの時点で行ってください。17ページの「測定値のマーキング」を参照してください。

9. 使用済みのセンサーを廃棄するには、廃棄用容器の上で機器を下向きにし、廃棄ボタンを押してください。その際、手が操作ハンドルにかかっていないことを確認してください。



メモ： 操作ハンドルに手がかかっていると、センサーをうまく廃棄できない場合があります。

注意：使用済みセンサーは医療機関から指示された廃棄方法に従って廃棄してください。

10. 電源ボタン ⏻ を押して、電源を切ってください。

メモ： 電源を切り忘れた場合でも、3分後には自動的に電源が切れます。

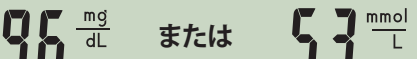
安全上の注意：

- **血糖値が50mg/dL以下または250mg/dL以上の場合や、"LO"または"HI"が表示された場合は、再度測定してください。それでも測定結果が同様の場合は、潜在的に重篤な状態が示唆されます。**

  必ず 主治医に連絡してください。

- **主治医の指示がない限り、得られた測定結果を基に治療方法を変更しないでください。**
- **測定結果はmg/dLの単位で表示されるように事前に設定されています。この設定は固定されており変更はできません。mg/dL表示の場合、小数点以下の数値は表示されません。mmol/L表示の場合には、小数点以下の数値が常に表示されます。**

  例：



測定結果が異なる単位（mmol/L）で表示される場合は、当社糖尿病検査お問い合わせコーナーにご連絡ください。

測定値のマーキング

メモ: 測定結果を削除対象の測定値としてマーキングすると、その結果は平均血糖値の計算に使用されません。

測定結果がディスプレイに表示されている間に、直ちにマーキングを行う必要があります。次のステップを実施してください。

1. ボタンカバーを開けます (3ページを参照)。
2. －ボタンを押して、削除対象としてマーキングします。
3. ✗マークは削除対象の測定結果であることを示します。
4. 決定ボタンOKを押します。
5. 電源ボタンを押して、電源を切ります。

異常な測定結果

予想外の測定結果が出た場合は、次のステップを実施してください。

1. コントロールテストを実施します（19ページを参照）。
2. 血糖値を再度測定します（10ページを参照）。
3. それでも予想外の結果が出た場合は、主治医に連絡してください。

指先以外での採血

測定用の血液は、指先以外からでも採取できます。ただし、前腕部や手のひらの部位から採血して得られた血糖値は、指先から採血して得られた血糖値とは異なる場合があります。測定結果の違いは、食事、インスリン投与、運動などの要因によって血糖値が急激に変化したときに発生します。

指先以外から採血する場合は、次の点に注意してください。

1. 指先以外から採血を行ってもよいかどうか、主治医に確認してください。
2. 車の運転や機械類の操作など、危険を伴う行動をする前には、必ず指先から採血して血糖値を測定してください。
3. 無自覚性低血糖の場合（低血糖の症状が認められない場合や低血糖状態であるかどうか判断できない場合）は、指先から採血して測定することをお勧めします。血糖値が低い場合は、主治医に相談してください。
4. 体毛や目で確認できる血管のない、やわらかい部分を選んでください。採血部位を石鹸と温水でよく洗い、完全に乾かしてください。
5. 指先以外の部位での測定は、次の行動後2時間以上が経過している場合のみとしてください。

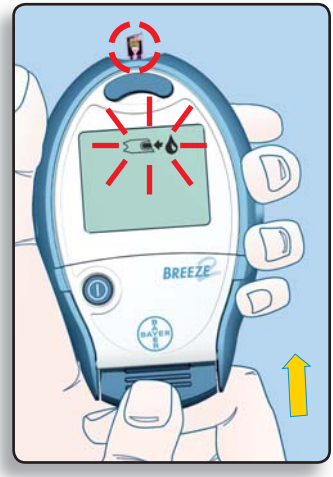
・食事　・服薬　・運動

コントロールテストの実施：

コントロールテストを実施することにより、本システムが正常に作動していることを確認できます。また、コントロールテストで測定手順を確認することもできます。次のステップを実施してください。（コントロール溶液は別売りです）

センサーを引き出します

1. 片手で機器本体を持ち、もう一方の手で操作ハンドルをしっかりつかみます。あとは、「引いて押す」だけです。ハンドルをいっぱいまで引き出したあと、機器にしっかりと押し込んでください。



メモ：操作ハンドルを押し込むと、廃棄ボタンが上がり、センサーが出て、点着マークがディスプレイに表示されます。これでコントロールテストの準備は完了です。

2. ブリーズ2コントロールを吸収性のない表面（清潔な紙など）の上に1滴垂らしてください。

コントロール溶液はボトルの先端から直接センサーに吸わせないでください。

メモ：コントロール溶液には赤色色素が含有されていますので、衣服などに付着すると落ちない可能性があります。

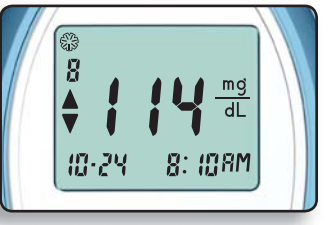
コントロールテスト測定を行います

3. コントロール溶液の滴粒に機器を近づけ、センサーの先端を溶液に接触させてください。コントロール溶液がセンサー内に自動的に吸い込まれます。

重要: ブザーが鳴ったら、すぐにコントロール溶液からセンサーを離してください。

4. ブザーが鳴ったら、ディスプレイに5秒から1秒までの秒読みが表示されます。

コントロールテストの結果がディスプレイに表示されます。



この結果をブリーズ2センサーの個装箱の底面にプリントされている値と比較してください。

メモ： ここでコントロールテストのマーキングを行うと、結果は平均血糖値の計算に使用されません。

コントロールテストのマーキング

測定結果をコントロールテストとしてマーキングすると、その結果は平均血糖値の計算に使用されません。

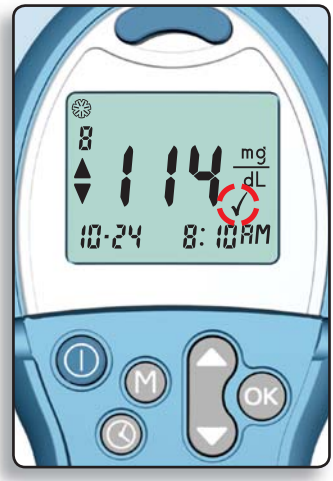
マーキングは、測定の実施後、ディスプレイに結果が表示されている間に行う必要があります。次のステップを実施してください。

5. ボタンカバーを開けます。

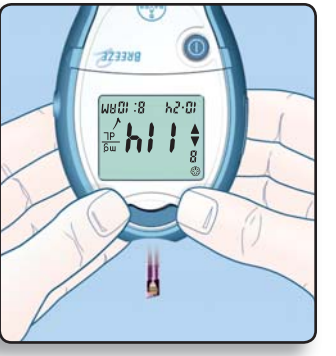
＋ボタンを押して、コントロールテストとしてマーキングします。

✓マークはコントロールテストの結果であることを示します。

決定ボタンOKを押します。



6. 使用済みのセンサーを廃棄するには、廃棄用容器の上で機器を下向きにし、廃棄ボタンを押します。その際、手が操作ハンドルにかかっていないことを確認してください。



メモ： 操作ハンドルに手がかかっていると、センサーをうまく廃棄できない場合があります。

7. 電源ボタン ⏻ を押して、電源を切ります。

日常の測定以外での機能

測定結果の呼び出し:

本機器は、420回分の測定結果を記憶することができるため、過去の測定値を簡単に確認することができます。過去の測定値を確認するには、次のステップを実施してください。

1. ボタンカバーを開けます。

2. 呼出ボタン Ⓜ を押します。

   最新の測定結果が表示されます。

3. －ボタン を押すことにより、記憶された個々の結果を確認することができます。

☺**役立つヒント:** ディスプレイに▼のみが表示されている場合は、最も新しい測定結果が表示されています。▲のみが表示されている場合は、最も古い測定結果が表示されています。

☺**役立つヒント:** 本機器は420回分の測定結果を記憶することができます。測定結果が記憶されていない場合には、3本の横棒が表示されます。機器のメモリーがいっぱいになると、最新の測定値が記憶され、最も古い測定値が消去されます。

平均血糖値の確認

本機器は、1日（24時間）、7日間、14日間、30日間の平均血糖値を計算できます。これらの平均値を確認するには、次のステップを実施してください。

1. ボタンカバーを開け、呼出ボタンⓂを押します。最新の測定結果が表示されます。

2. 呼出ボタンⓂを再度押すと、最近の14日間の平均血糖値が表示されます。

3. ＋ボタンとーボタンを押すことにより、それぞれの平均血糖値（30日間、1日［24時間］、7日間、14日間）を表示することができます。ディスプレイの下には、現在表示されている平均値の種類が表示されます。

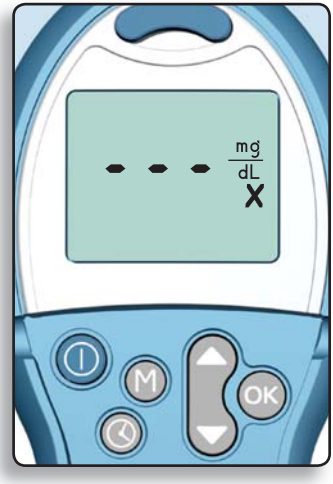
メモ： 選択した期間の測定結果が記憶されていない場合には、3本の横棒が表示されます。ただし、測定結果が指定した日数分に満たない場合でも、記憶されている値のみで平均値が計算されます。

4. 再度呼出ボタンⓂを押すと、記憶されている個々の測定結果を確認することができます。

記憶されている測定結果の消去

記憶されている結果を消去するには、次のステップを実施してください。

1. ボタンカバーを開けます。
2. 呼出ボタンⓂを押します。
3. 再度呼出ボタンⓂを押し、そのまま押し続けます。
4. 呼出ボタンⓂを押し続けた状態で、設定ボタンを押します。
5. 3本の横棒が継続表示されるまで（約3秒間）両方のボタンを押し続けます。



測定結果の消去を途中で中止する場合は、3本の横棒が表示される前にボタンから手を離してください。

設定機能：

☺**役立つヒント：** 設定操作中は、電源ボタン⏻を押していつでも機器の電源を切ることができます。変更した設定を記憶させる場合は、必ず決定ボタンOKを押してください。

時刻の設定

1. ボタンカバーを開けます（3ページを参照）。

2. 設定ボタン🕒を押します。

3. ＋ボタン▲または－ボタン▼を押して時間を変更します。

   正しい時間が表示されたら、決定ボタンOKを押します。

4. ＋ボタン▲または－ボタン▼を押して分を変更します。

   決定ボタンOKを押します。

☺**役立つヒント：** 旅行などで時差が生じた場合や、夏時間が導入されている地域では、時間の変更が必要となる場合があります。

5. ＋ボタンまたはーボタンを押して**AM**または**PM**を選択します。

決定ボタンを押します。

日付の設定

メモ： 時刻を設定した直後の場合は、ステップ4に進んでください。

1. ボタンカバーを開けます。

2. 設定ボタンを押します。

3. 日付が点滅するまで決定ボタンを数回押します。

4. ＋ボタンまたはーボタンを押して日付を変更します。

決定ボタンを押します。

5. ＋ボタン▲または－ボタン▼を押して月を変更します。

決定ボタンOKを押します。

6. ＋ボタン▲または－ボタン▼を押して年を変更します。

決定ボタンOKを押します。

ブザー音量の設定

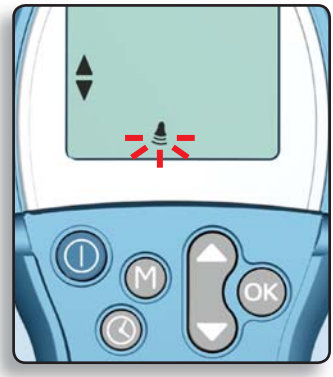
ブザー音は3段階の調整が可能です。

大　小　消音

メモ： 日付を設定した直後の場合は、ステップ4に進んでください。

1. ボタンカバーを開けます。
2. 設定ボタンを押します。
3. ブザーのマークが表示されるまで決定ボタンを数回押します。
4. ＋ボタンまたはーボタンを押してブザー音量を変更します。

   決定ボタンを押します。



時刻表示形式の設定（12時間または24時間表示）

時刻は、12時間（12 H）または24時間（24 H）の形式で表示できます。時刻の表示形式を変更するには、次のステップを実施してください。

メモ： ブザー音量を設定した直後の場合は、ステップ4に進んでください。

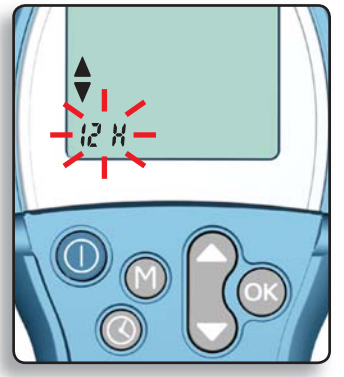
1. ボタンカバーを開けます。

2. 設定ボタンを押します。

3. 時刻の表示形式が点滅するまで決定ボタンを数回押します。

4. ＋ボタンまたはーボタンを押して時刻の表示形式を変更します。

   決定ボタンを押します。



日付表示形式の設定

日付は、“月／日”（m·d）または“日／月”（d·m）の形式で表示できます。日付の表示形式を変更するには、次のステップを実施してください。

メモ： 時刻の表示形式を設定した直後の場合は、ステップ4に進んでください。

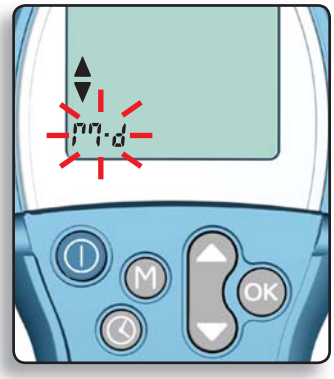
1. ボタンカバーを開けます。

2. 設定ボタンを押します。

3. 日付の表示形式が点滅するまで決定ボタンOKを数回押します。

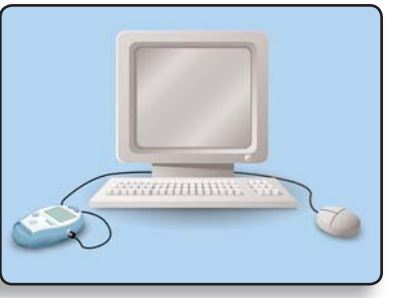
4. ＋ボタンまたはーボタンを押して日付の表示形式を変更します。

   決定ボタンOKを押します。



測定結果のコンピュータへの転送：

本機器の測定結果をコンピュータに転送して、グラフや表にまとめることができます。この機能を使用するには、バイエルの糖尿病管理用ソフトウェアとデータケーブルが必要です。



注意：バイエルの糖尿病管理用ソフトウェア以外のソフトウェアとの併用による動作テストまたは動作保証は行っておりません。他のソフトウェアを使用したことによって誤った測定結果が出た場合は当社では一切責任を負いません。

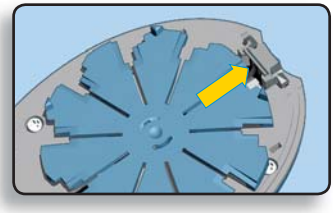
詳細については、お問い合わせコーナーにお問い合わせください。

機器の清掃：

糸くずの出ない薄い布に中性洗剤や消毒剤（漂白剤1に対して水9）を少量含ませて清掃します。アルコールは使用しないでください。センサー出口部分に洗剤や消毒剤が入り込まないように注意しながら機器の外側を拭いてください。清掃後、糸くずの出ない薄い布で水分を拭き取ってください。

センサー出口が濡れた場合は、図のように布の隅を使用して拭き取ってください。

センサー出口に異物や残留物がないことを機器の外側と内側の両方から確認し、異物が見つかった場合はそっと取り除いてください。



警告：感染防止に関する注意事項

血液および血液が付着したすべての機器や器具・器材等は、感染防止に充分配慮して取り扱ってください。

各施設で採用している感染防止手順に従ってください。

電池の交換：

本機器は、3Vリチウム電池（型式CR2032）を使用します。ご購入時にはすでに電池がセットされています。

電池の交換時期が近づくと、ディスプレイに電池のマークが現れ点滅し始めます。電池を交換しても、記憶されている測定結果は消去されませんが、時刻は再設定する必要があります。

注意：電池が消耗したら、測定20回以内または1週間以内に電池を交換する必要があります。

メモ： 電池の消耗が進んで測定ができなくなると、ディスプレイには電池のマークだけが表示されます。この場合、電池を交換しない限り測定は実施できません。電池が完全に切れると、ディスプレイには何も表示されなくなり、機器は使用できません。

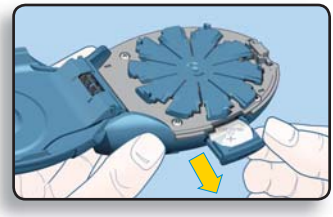
警告：電池は子供の手の届かないところに保管してください。リチウム電池には毒性があります。飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。使用済みの電池は各自治体のごみ廃棄区分に従って適切に廃棄してください。

電池交換の手順：

メモ： 交換用の電池（型式CR2032）は電気店などでお買い求めいただけます。

1. ディスプレイが下を向くように機器を裏返し、オープンラッチの端を押して裏ぶたを引き上げて機器を開けます。

2. 電池収納部を引き抜きます。

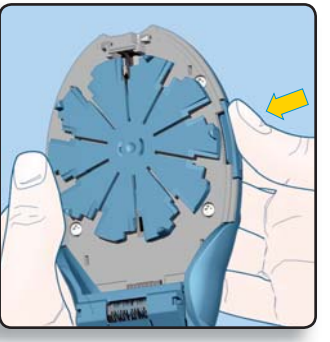


メモ： 電池収納部を引き抜く前に、機器本体を開ける必要があります。電池収納部は無理に取り出さないでください。

3. 使用済みの電池を裏側から押し出します。

4. 新しい電池（型式CR2032）のプラス（＋）の面を上に向けて、電池収納部にしっかりとはめ込みます。

5. 電池収納部をそっと元に戻します。電池収納部が奥まできちんと入っていることを確認してください。



6. 機器を閉じます。

7. 電源ボタン⏻を押して表示されている時刻を確認し、必要に応じて再設定を行います（26ページを参照）。

これで測定を再開できます。

技術的な情報

機器の仕様:

測定対象:	毛細管全血を測定し血漿血糖値として表示
校正方法:	機器本体に新しいセンサーディスクがセットされると、自動的に機器の校正が行われます。
必要検体量:	約1μL
測定値の表示単位:	mg/dL
測定範囲:	10～600mg/dL
測定時間:	血液吸引2秒+機器による測定5秒
メモリー機能:	420回分の測定結果
操作時の環境温度:	10°～45°C
湿度:	10～80%
電源:	DC3Vリチウム電池（型式CR2032）1個

問題点の解決

故障かなと思われたら:

故障かなと思われたら、まず次の項目についてご確認ください。

1. 機器にセンサーディスクは入っていますか?
   はい_____ いいえ_____
   いいえの場合は7ページを参照してください。

2. センサーディスクに未使用センサーは残っていますか?
   はい_____ いいえ_____
   いいえの場合は7ページを参照してください。

3. 使用期限内のセンサーディスクを使用していますか?
   はい_____ いいえ_____
   いいえの場合は7ページを参照してください。

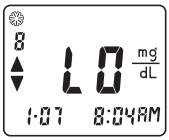
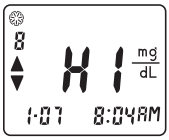
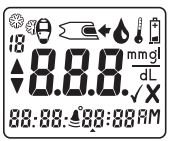
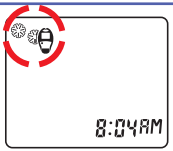
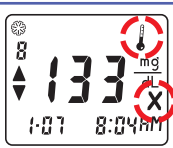
4. 操作ハンドルを引いて押す際に、「引く」ときはいっぱいまで引き、「押す」ときはきちんと押し切っていますか。
   はい_____ いいえ_____
   いいえの場合は11ページを参照してください。

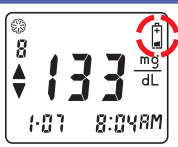
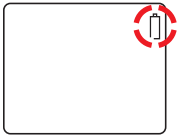
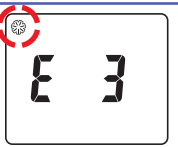
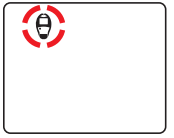
5. 電池のマークは点滅していませんか? はい_____ いいえ_____
   はいの場合は34ページを参照してください。

6. 電池収納部は機器本体の奥までしっかりと入っていますか?
   はい_____ いいえ_____
   いいえの場合は36ページを参照してください。

問題解決とエラーコード:

機器の操作に疑問がある場合や、ディスプレイの表示に疑問がある場合は、以下の表を参考にしてください。

現象	原因	対処方法
	測定結果が10mg/dLよりも低い場合に表示されます。	再度測定してください。センサーに血液が十分吸い込まれていることを確認してください。それでも**LO**が表示される場合は、主治医に相談してください。
	測定結果が600mg/dLよりも高い場合に表示されます。	手と採血部位を洗い、再度測定してください。それでも**HI**が表示される場合は、主治医に相談してください。
	操作ハンドルが奥まできちんと押し込まれていません。	カチッという音がするまで操作ハンドルを押してください。操作ハンドルを奥まで押し込むと、血液の点着マークが点滅します。このマークを確認したうえで、センサー先端に血液を点着してください。
	• センサーディスクのセンサーをすでに使い切っています。 • 機器にセンサーディスクがセットされていません。 • センサーディスクが裏表逆にセットされています。 • センサーが破損しています。	新しいセンサーディスクを、セットしてください。新しいディスクがセットされている場合は、取り出して異物が付着していないか確認してください。ディスクを裏返し、凹凸のある面を上にしてセットし直してください。それでもエラーが表示される場合は、新しいディスクをセットしてください。問題が解決できない場合は、当社のお問い合わせコーナーにご連絡ください。
	血糖値と共に温度計と**X**のマークが表示される場合は、測定を行った場所の温度が低すぎるか高すぎます。この場合、測定結果は平均血糖値の計算から除外されます。	温度が10°C～45°Cになる環境下に機器を15～20分置き、再測定してください。

現象	原因	対処方法
	電池が消耗してくると、電池マークが点滅します。	測定20回以内または1週間以内に新しい電池（型式CR2032）に交換してください。
	電池が完全に切れています。	新しい電池（型式CR2032）に交換してください。
	測定する場所の温度が機器の操作環境温度の範囲外です（温度が高すぎるか低すぎます）。	測定する場所の温度が操作時の環境温度の範囲内になってから再度測定してください。
	機器がセンサーディスクを認識できません。	センサーディスクを取り出し、機器に異物が入っていないか確認してセットし直してください。それでもエラーが表示される場合は、新しいディスクをセットしてください。問題が解決できない場合は、当社のお問い合わせコーナーにご連絡ください。
	測定中にセンサーが引き抜かれたか、廃棄ボタンを押してしまった場合に表示されます	測定中に廃棄ボタンを押したり、センサーを引き抜いたりしないでください。使用済みのセンサーを廃棄してから再度測定してください。問題が解決できない場合は、当社のお問い合わせコーナーにご連絡ください。
 **（ブザーも鳴ります）**	操作ハンドルを引き出した状態で、機器を開けた場合に表示されます。	機器を閉じてから操作ハンドルを押し込んでください。

現象	原因	対処方法
	1. 血液をセンサーに点着するタイミングが早すぎた可能性があります。 2. センサー出口付近が濡れている可能性があります。	1. 点着マークを確認してから、再度測定してください。 2. 十分に乾燥させてから再度測定してください。
	センサーに十分な血液を吸引できなかったため、正確な計測を行うことができません。	使用済みのセンサーを廃棄し、新しいセンサーで再度測定してください。
	1. 機器本体の故障が考えられます。 2. センサーディスクが、期限切れになっているか、高熱や湿気などにより劣化している可能性があります。	1. 使用済みのセンサーを廃棄し、新しいセンサーで再度測定してください。 2. 新しいセンサーディスクに交換してください。
	血糖値が高すぎるか、機器にエラーが生じたため、正確な計測を行うことができません。	電源ボタンを押して電源を入れ直してから、再度測定してください。もしエラーが再び表示される場合は、主治医に相談してください。血糖値が1500 mg/dLを超えている可能性があります。機器本体に問題がある場合は、当社のお問い合わせコーナーにご連絡ください。

現象	原因	対処方法
またはそれ以上 (E12,E13…)	機器本体の故障が考えられます。	電源ボタンⓘを押して電源を入れ直してから、再度測定してください。問題が解決できない場合は、当社のお問い合わせコーナーにご連絡ください。
電源を入れてもディスプレイに何も表示されない	1. 誤って電源ボタンⓘを押した可能性があります。 2. 3分以上何も操作しなかったか、血液またはコントロール溶液の点着に10分以上かかると、自動的に電源が切れます。	1. 電源ボタンⓘを押してください。 2. これは電池を節約するための通常の動作です。もう一度、電源ボタンⓘを押してください。
機器の電源が入らない	1. 電池が完全になくなっています。 2. 電池収納部がゆるんでいるか、電池のプラス(+)の面が下になってセットされています。	1. 新しい電池に交換してください(34ページを参照)。 2. 電池の極性が正しいかを確認するとともに、電池収納部がしっかりと本体に入っていることを確認してください(36ページを参照)。それでもディスプレイに何も表示されない場合は、新しい電池(型式CR2032)に交換してください。
血液を点着したにもかかわらず測定が開始されない	1. 血液量が不足しています。 2. 機器内部が汚れている可能性があります。 3. 機器が故障しています。	1. 使用済みのセンサーを廃棄し、十分な血液で再度測定してください。 2. 機器内部を確認して(33ページを参照)清掃してから、再度測定してください。 3. 当社のお問い合わせコーナーにご連絡ください。

現象	原因	対処方法
コントロールテストの結果が期待値から外れている（高すぎるまたは低すぎる）	• コントロール溶液の使用期限が切れているか、開封してから6ヶ月以上が経過しています。 • センサーディスクの使用期限が切れています。 • 熱や湿気によりセンサーディスクが劣化しています。 • コントロール溶液の温度が測定場所の温度と異なります。 • コントロール溶液の点着量が不十分です。	コントロールテストを再度行ってください。それでも期待値から外れる場合は、センサーディスクを交換して再度測定してください。その際、コントロール溶液は、開封してから6ヶ月以内の、使用期限内のものを使用してください。それでも結果が期待値から外れる場合は、当社のお問い合わせコーナーにご連絡ください。
点着をする前に測定の秒読みが始まる	機器内部が濡れている可能性があります。	水分を完全に拭き取ってください（33ページを参照）。問題が解決できない場合は、当社のお問い合わせコーナーにご連絡ください。
電源ボタン ⏻ を押したとき、または操作ハンドルを引いたときにディスプレイの表示項目が一部欠けている	ディスプレイの不良が考えられます。	ご使用の機器本体のディスプレイ表示が5ページのディスプレイ表示と異なる場合は、当社のお問い合わせコーナーにご連絡ください。

お問い合わせ先

問題点が解決できないとき

問題点の解決方法を実施しても解決できない場合は、お問い合わせコーナーにご連絡ください。

糖尿病検査お問い合わせコーナー／平日（月～金）9:00～17:30

0120-123119

製品に関するお問い合わせはフリーダイヤルへ（料金無料）

バイエル薬品株式会社

お問い合わせの前に

■ご連絡される前には、測定に必要な全ての資材をお手元にご用意ください。

■お電話でご連絡いただく前に、以下のチェックリストでチェックされることをお奨めいたします。

チェックリスト:

1. 機器の製造番号（SERIAL NO.）: _____

2. 問題が発生した日時: _____

3. ブリーズ2 コントロールNを測定しましたか: はい　いいえ

   ブリーズ2 コントロールNの測定結果: _____ mg/dL

   製造番号（LOT）: _____ 使用期限（EXP.）: _____

4. センサーディスクの製造番号（LOT）および使用期限（EXP.）

   ディスクと包装箱に記載されています。

   製造番号（LOT）: _____ 使用期限（EXP.）: _____

別途販売品：

別途販売製品

製品名をご確認の上ご注文ください。

製品番号	製品名
1482	ブリーズ2センサー(30 センサー入り)
1483	ブリーズ2センサー(720センサー入り)
1484	ブリーズ2センサー(1440センサー入り)
1485	ブリーズ2センサー(120センサー入り)
1489	ブリーズ2コントロールN
1490	ブリーズ2コントロールL
1491	ブリーズ2コントロールH
6542P	マイクロレット（穿刺用採血器）
6545P	マイクロレット®ランセットII（240個入り）
6548P	マイクロレット®ランセットII（1,000個入り）
3415	マイクロレット チョイス(穿刺用採血器)

メモ：DC3Vリチウム電池（型式CR2032）は電気店などで一般に販売されています。別途販売品についてご不明な点がありましたら、当社の糖尿病検査お問い合わせコーナーまでご連絡ください。（フリーダイアル0120-123119）

■保証について（3年間保証）

ブリーズ2センサーまたはオートディスクセンサー以外のセンサーを
ブリーズ2に使用した場合、もしくは、センサーを変形、改造して ブリーズ2
に使用した場合は 責任を負いません。

保証

ブリーズ2の保証期間は**ご購入後3年間**です。
本機器はきわめて信頼性の高い精密機器ですが、保証期間中に万一下記の免責事項以外で故障が発生した場合には、代わりの良品と無償交換しますので予めご了承ください（日本国内のみで有効です）。

次の場合は保証期間内でも有償となります。

1. 使用上の不注意による故障ならびに損傷等
2. 天災･地変等の出来事による故障ならびに損傷
3. 当社および指定機関以外の修理･調整･改造等による故障
4. その他、当社の責によらない故障ならびに損傷

バイエル薬品株式会社
大阪市淀川区宮原3-5-36 〒532-8577

Bayer

99A14569
©2006 Bayer
Rev. 12/07